



成果 (○) と課題 (●)

- 夏季合同研修会において教科別に課題のある問題を解き、「児童生徒がどこでつまづいているのか」「克服するための効果的な指導方法は何か」を協議し課題を明らかにした。児童生徒の課題を基に「こうぬ3つのプロミス」を作成し、各校内に掲示し、授業規律の改善に取り組んだ。
- 課題を克服するための単元開発により、生徒の学力が向上している。
- 課題解決へ向かう学習意欲が小学校・中学校共に県平均を上回った。
- 共通課題の克服のため、小中合同の授業研究を計画的に設定し、共同で授業改善を継続する。



平成27・28年度文部科学省委託「道徳教育改善・充実」総合対策事業（甲奴小学校）
 平成28・29年度広島県「学びの革新」パイロット校事業実践指定校（甲奴中学校）
 平成27・28・29年度三次市「小中一貫教育」モデル地域指定（甲奴小・小童小・甲奴中）

平成28年度三次市甲奴中学校区小中一貫教育公開研究会

研究主題
 ふるさと甲奴を誇りに思い、主体的に学ぶ子どもの育成
 ～学び合い・地域と連携したカリキュラムづくりを通して～

地域とつながる 主体的な学び 主体的に学ぶ



異年齢でつながる グローバルマインド 異文化を体験する



道徳教育重点内容項目の取組
 ～強い意志、友情・信頼、郷土愛～

小2「なわとび」(小学校どうとく「生きるカ2」日本文教出版)
 努力と強い意志

小1「すてきがいっぱい」(文溪堂)
 郷土愛

中3「アキラのケータイ」(中学生の道徳3「自分をのぼす」あかつき図書)
 友情、信頼



成果 (○) と課題 (●)

- コアカリキュラム、オリジナルカリキュラムについて活動毎に振り返り、来年度へ向けての見直しを行うことができています。
- 校区道徳教育重点内容項目を設定し、小学校と中学校をつなぐ「9年間を見通した道徳教育プログラム」を作成した。
- 各校の授業研究を小中合同研修に位置付け、小中連携を継続してきた。
- 地域と連携したカリキュラムづくりを通して、「地域のことが好き」という児童生徒の割合が向上した。
- 道徳教育プログラムは、付けたい資質・能力と関連付けながら、さらに見直しを加えていく。
- 小中合同の研修を充実させる。



部活動体験を通して

～小学生の振り返り～
 ・僕はいま中学校に入学してクラブに入部して活動するのが楽しみです。
 ・あまり時間のない時でも僕たちのために事前から用意してくれて僕たちが楽しめることをしっかり考えていたから、さすが先輩たちだと思いました。
 ・まだどの部活動にするかははっきりとは決めていないけれど、どの部活動の先輩たちもみなさん優しくして親切なので、中学校に入学することがとても楽しみです。
 ・ぼくは打つ時にラケットがななめになっていて、空振りばかりしていました。それでも優しく教えてくださって、とても立派だと思いました。

～中学生の振り返り～
 ・私は素振りについて自分なりに上手く教えることができたし、お手本になれたかなと思います。
 ・去年すごく優しく丁寧に教えていただいたので、今回は私たちがそれ以上に教えることができました。
 ・教えるのに苦戦しましたが、「楽しかった」という声を聞いたのでうれしかったです。

成果 (○) と課題 (●)

- 小中9年間で、指導方針の一貫性のある生徒指導規程に改善した。
- 3校でSNSの使用についての約束を統一した。
- 小中合同合唱や部活動体験を通して、小学生は中学生の姿を目標として自己を向上させる意欲が高まり、中学生は自己肯定感が高まった。
- 甲奴町PTA連合会と連携し、あいさつ運動を地域ぐるみで取組んだ。
- 生徒指導部会を定期開催するよう計画する。児童生徒の情報交流を行い中学校区として発達段階に即した系統的な指導法について協議する必要がある。

甲奴中学校区のめざす子ども像

ふるさと甲奴を誇りに思い、主体的に学ぶ子ども

外国語教育の推進



授業交流

道徳教育の推進

甲奴中学校
甲奴小学校
小童小学校

異年齢交流・合同行事

響く歌声



学力向上部会

- 主体的に学ぶ力を高め、学力向上を推進する
 - ア 学力調査の結果を分析し、共通課題への取組を推進
 - イ 「こうぬ3つのプロミス」を3校で実行
 - ウ 各学校の授業研究に参加し、主体的に学び、学び合い高まり合う児童生徒を育成するための授業改善を研修
 - エ 授業モデルの確立（授業規律の確立、学習環境づくり）
 - オ 中学校英語暗唱大会（小学校6年生参加）・中学生リトルティーチャーの実施
 - カ 小中の系統的な学習内容を交流し把握
 - キ 乗入れ授業の実施

夏季合同研修会

夏季合同研修会 グループ協議 まとめ

教科(算数・数学)

つまずきの分析

つまずきを克服するための効果的な指導方法

「読む・書く・話す」

「読む」から読解力を高め、書き込みを促す指導方法

「書く」は、読解力と読解内容を整理し、自分の言葉で表現させる。

「話す」は、読解力と読解内容を整理し、自分の言葉で表現させる。

「読む・書く・話す」を繰り返すことで、読解力と読解内容を整理し、自分の言葉で表現させる。

系統的な指導

系統的な指導

こうぬ3つのプロミス

①先言後礼

②返事は、はっきり返す

③発表は、最後まで言い切る。

中学校英語暗唱大会（小学校6年生参加）

英語アクティビティ

中学生リトルティーチャー

研究部会

- 「総合的な学習の時間」の充実
 - ア 地域の教育力を生かしたコアカリキュラム・オリジナルカリキュラムを推進
 - イ 小中で実践を交流しての系統的な取組
 - ウ 主体的に探究させるために「課題発見・解決学習」を設定
- 道徳教育の推進
 - ア 9年間を見通して「地域を愛し、人から学び、自分を高めることができる児童生徒」を育成する
 - イ 主となる内容項目を決め、9年間を見通した道徳教育プログラム作成
 - ウ 各校の授業研修に参加し、研修を深化
 - エ 小学校の道徳教育推進教師が中学校の学習指導案を指導
 - オ 道徳教育推進教師を中心に「考える道徳」「議論する道徳」の研究

校区コア・オリジナルカリキュラムの取組

前期（小1～小4）

中期（小5～中1）

後期（中2～中3）

9年間を見通した道徳教育プログラム

各校の授業研究への参加

ピーナッツプログラム（甲奴小）

道徳ノートの工夫（小童小）

主体的な学び合い（甲奴中）

生徒指導部会

- 生徒指導の充実
 - ア 3校共通して「凡事徹底」の取組を実施（あいさつ、返事、時間を守る、掃除）
 - イ 「甲奴中学校区生徒指導規程」に基づいた指導と交流
 - ウ 児童生徒の情報についての連携
 - エ スクールカウンセラーの活用についての連携
 - オ 児童生徒間交流や合同行事の拡充（児童会と生徒会の交流会）

あいさつ運動

町Pとの連携

校区生徒指導規程の改善へ向けた協議

小学校部活動体験

甲奴町PTA連合会「STOP9」の取組

甲奴町PTA連合会と連携したあいさつ・交通指導週間の展開

・頭髪について、中学校で禁止されていることが小学校で許可されているなあ。

・小中の指導内容を一貫した方がいい。

・中学校へ入学した時、児童生徒、保護者へ説明できるようにしよう。等

・小学生の中学校入学への意欲を高める。

・小学生は中学生（先輩）の姿を目標し、自己を向上させる意欲を高める。

・中学生は自己肯定感を高める。

庶務部会

- 計画的な予算執行
- 教育環境の整備
- 研修への積極的参加
- 来年度の計画についての協議

家庭

- 「三点固定」の取組による基本的な生活習慣の定着
- 家庭学習の習慣化

- 「STOP9」の取組
- あいさつ・交通指導週間の展開

- キャリア教育、職場体験学習、1/2成人式
- 地域学習、体験学習の支援
- 安心・安全・見守り・声かけ

地域

学校・家庭・地域が協働した「横の一貫教育」

《9年間の「縦の一貫教育」学びの連続性》